

平成27年1月23日

平成26年度 第2回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校  
校長 森田 亨

〔会議日時〕 平成27年1月20日（火）午後7時00分～午後8時

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員6名

小池 清治さん（十日市場区自治会長）

戸栗 隆治さん（下村区自治会長）

志村 郁造さん（下今井区自治会長）

名執 玲子さん（元若草中教員、学校評議員）

齊藤 秀さん（PTA会長、学校評議員）

折居 弘美さん（PTA副会長、学校評議員）

・学校側3名

森田 亨（校長）

横小路 豊（教頭）

時田 直人（主幹教諭）

1 学校からの説明事項

第2回学校評価、各アンケートの集計結果について

①児童アンケートの結果と考察について

②保護者アンケートの結果と考察について

③教職員アンケートの結果と考察について

2 意見交換

（1）学校評価の方法について

委員より、学校評価について意見・感想をいただいた。

主な意見は、次のようなものである。

①細かい項目について調査をおこなっていることがわかった。

②無記名の調査なので、保護者も簡単に回答をしているかもしれない。記名回答にすると、さらによく考えて回答をすることも考えられる。

（2）教育活動について

学校関係者評価委員より、次のような質問をいただき、学校側から回答をした。

①学年だより、学級だよりの発行頻度はどうなっているか。

回答：学年だよりは高学年では1月に1度、低学年では2週間に1度、発行されている。学習予定や行事予定、学年で取り組んだことの紹介などを載せている。学級だよりは担任により発行回数は違うが、学級のように作文の紹介などを載せている。

委員の意見：保護者の回答から、保護者が学校からのおたよりをよく読んでいることがわかる。

②今の子どもの体力はどんなようすか。

回答：体力のある児童と、体力のあまりない児童の2極化が見られると思う。

委員の意見：学校から帰ってきて、公園などで遊んでいる子どもの姿が減っている。ラジオ体操に来る時も徒歩ではなくて自転車できている。

③いじめ・不登校はどんな状況か。

回答：いじめについては予防として、よい人間関係の学級づくりを行い、教師も子どもの人間関係に気をつけている。ただ、教師の目に入らないところで、叩いたり、物にいたずらをしたりするようなことが数件あった。子どもだけでなく保護者もまじえて相談をし、再発防止に努めている。

委員の意見：問題の少ない年と、問題の多い年のように、子どもの様子には周期のようなものがあるようだ。悪い方向に子どもが進むのは、家庭環境や親の愛情のかけかたに原因があるのだろう。

(3) 若草小の児童の様子について

委員から、若草小学校の児童のようすについて、気づいたことがだされた。

- ・登校班の様子を見ていたら、班員がそろって横断歩道を渡りきれのように、信号を一回待って全員をそろわせてから渡らせていて、感心な高学年の児童の姿を見ることができた。

(4) 地域と子どもとの結びつきから

委員から、地域と子どもとの結びつきについて、気づいたことがだされた。

- ・大人たちが子どもたちを見守っているということが伝わるのが大切だろう。夕方の帰宅を呼びかける放送が、若草で始まり今では市内全域に広がって続いている。
- ・市内全体で時期を合わせ、各地域でおこなったあいさつ運動はよかった。子どもたちもよくあいさつをしていた。

(5) 教育への要望について

委員から、教育への要望を出していただいた。

- ①ラジオ体操、お祭り、スポーツ大会、どんど焼き等、地域の行事に小学生はよく参加してくれている。そういう行事に参加することで、大人と話をする機会を多く持ち、子どもの社会とは別の社会への関心をもたせ、いろいろな結びつきを育てていきたい。さらにたくさん子どもたちが参加するように、よびかけてほしい。

- ②今日の学校関係者評価委員会で話題に出た、子どもたちの良い点について、子どもたちに伝えてほしい。

平成26年度第2回学校関係者評価委員会では、以上のような意見・質問をいただいた。

第1回の学校評価と第2回目の学校評価を比較すると、良くなった点もあるが、課題もまだまだたくさんある。全保護者からいただいたアンケート結果の資料を無駄にしないよう、来年度も引き続き学校改善のために努力をしていきたい。